

特色ある学校づくりに係る資料（平成30年度）

学番	77	学校名	県立海洋高等学校	校長氏名	椎谷 一幸
----	----	-----	----------	------	-------

I 校長として目指している学校像

- 県内唯一の水産・海洋教育の実践をとおり、地域に貢献し、地域に活力を与え、地域に必要とされる学校
- 産官学協働教育等を活用し、海洋資源の持続的な活用を目指すなかで、生徒の学校生活満足度が満点となる学校
- 社会に出て、直ちに実務に携わることができる技術と知識を確実に身につけられる学校
- 日々の水産・海洋教育に魅力を感じ、高い志を抱いて全国から多くの生徒が集う学校

II 学校の目標を実現するために必要な教師像

- 自らの専門性を高めるとともに、分かる授業の実践に向けた創意工夫や改善を怠らない教師
- 生徒の希望する進路を実現するため、情報収集に努め、的確な指導助言を行う力を身につけ、生徒と一緒に将来を考え、適切に導くことのできる教師
- 学校の目標を達成するため、課題意識を持ち、組織の一員として自らの役割を自覚し、他の教職員と協調して積極的に行動できる教師

III オンリーワンスクールの取り組み

- 「地域創生に挑戦する学校」として、専門性の高い教育活動を行う。
 - ・地元の特産化や製品開発を行う「産官学連携事業」により、高度な知識・技術・技能を習得し、新たな6次産業にかなう人材を育成する。
 - ・HACCP(衛生管理システム)やハラル認証など、高度な認証をもとにした先進的、国際的な学習を展開する。
 - ・国内屈指の施設設備を活用し、実践力の向上を図る。

IV 本校の特色（海を知る。海に学ぶ。）

入学時、水産科として「括り募集」を行い、広く水産・海洋に関する学習をした後、2年次から水産資源科（資源育成コース、食品科学コース）、海洋開発科（海洋技術コース、海洋創造コース）に分かれて学習する。

実習船「海洋丸」「くびき」、潜水プール、臨海栽培実習棟など、国内屈指の恵まれた施設設備を有し、実践的な学習を行っている。同時に、タブレット端末を活用したICT教育にも力を入れている。

いずれのコースも、次代の水産・海洋産業界を支えることができる職業人となるために必要な力を身に付けることができる。